

## 関係機関が連携し役割を分担することで環境改善を図ったケース

### 1 気になる状況（SSW派遣のきっかけなど）

- 保護者の生活に必要なスキルの不足から、衛生面や金銭管理面で課題がみられる。
- 当該児童生徒の欠席が多く、学習面のみならず生活に必要な能力が身に付いていない。
- 当該児童生徒の祖父が病気を抱えているが、施設に入所することを保護者が拒んでいる。

### 2 ケース会議後のアセスメント（見立て）とプランニング

子育て支援課が主体となり実施されたケース会議において、次の基本情報などからプランニングが行われた。

#### (1) 基本情報など

- 当該児童生徒の保護者は掃除、洗濯、炊事などの家事をしないため、家庭内は不衛生でゴミは散逸し、食事はコンビニエンスストアに頼ることが多い。
- 当該児童生徒及び兄は放課後デイサービスに頼ることが多く、衛生面等で多くの支援を受けている。
- 保護者は今年から働き始めたが、長続きせず現在は休職中である。
- 保護者は、当該児童生徒が登校することについて、関心が薄い。

#### (2) アセスメント及びプランニング

- SSW及び関係機関が随時家庭訪問を行い、当該児童生徒の状況把握や保護者を支援・指導する。特に保護者の衛生面、食事、養育の面に力点を置き、励ましていく。
- 当該児童生徒の登校に関わり、放課後等デイサービスを中心とする関係機関が連携して関わり、登校意欲をもたせるようにする。
- 各関係機関が支援・指導を行った内容や改善点、課題などの情報を、子育て支援課に集約し、次のケース会議における話合いの骨子にする。

### 3 支援の状況（関係者や関係機関とその役割分担）

【学校】 当該児童生徒の状況把握・登校に向けた働きかけ

【子育て支援課】 情報集約・総括

【総合振興局CW】 生活支援

【訪問看護S】 祖父の支援

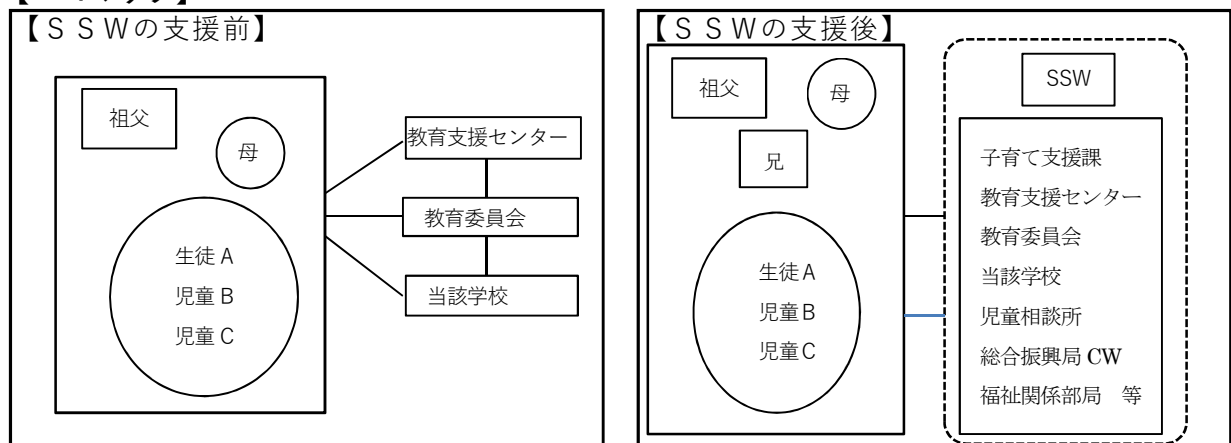
【教育委員会】 SSWによる登校に向けた働きかけ、家庭訪問

【放課後等デイサービス】 生活支援

【福祉部局】 衛生支援、祖父支援

【児童相談所】 本人の安全・生活支援

#### 【エコマップ】



### 4 支援後の状況（改善が見られたこと、成果など）

- 保護者は衛生面、食事、金銭管理など改善できないことは多いが、関係機関の家庭訪問等で話を聞き入れ、できそうなことから少しずつ行動する様子が見られるようになった。
- 当該児童生徒及び兄の登校支援、衛生面、食事の指導、祖父の健康面の支援などケース関係機関が精力的に取り組み、ケース会議で確認共有するなど、少しずつ成果を上げている。